「歴史総合」シラバス

学科	普通科	学年	１年	類型		組	１～４組	単位数	2
使用教科書	高等学校　歴史総合（第一学習社）								
副教材等	歴史総合ノート（第一学習社）								

1　学習の到達目標

①　近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる資質・能力を身に付ける。
②　歴史的事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、構想したことを説明・議論したりする力を身に付ける。
③　我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

2　学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を５段階の評定に総括する。

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに、諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	(1)(2)(3)(5)(6)
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意義を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史上の課題の解決に向けて構想する力や、構想したことを効果的に説明する技能を身に付けているか。	(1)(2)(3)(5)(6)
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、日本国民としての自覚と国の歴史に対する愛情を身に付けているか。	(3)(4)(5)(6)(7)

評価方法	主な評価項目
ペーパーテスト	(1)定期考査　(2)小テスト
学習状況の観察	(3)毎時間の授業への取組　(4)歴史的事象に関する興味・関心
発表	(5)調査方法・発表資料及び内容
課題レポート	(6)調査方法・表現方法
ノート	(7)学習内容の効果的なまとめ

3　学習の計画

学期	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い	評価項目
一学期	第１部　歴史の扉 歴史と私たち 歴史の特質と資料 第２部　近現代の世界と日本 第１章　近代化と私たち 近代化への問い １　18 世紀のアジアの繁栄 ２　産業革命と市民革命 ３　イギリスの繁栄と国民国家の拡大 ４　アジア諸国の変貌と日本の開国 ５　帝国主義の発展 近代化と現代的な諸課題	・身近な諸事象と日本や世界の歴史とのつながりを理解し、関連性について考察する。諸資料を活用し、課題を追究たり解決したりする活動に主体的に取り組む。 ・交通と貿易、産業と人口と政治参加や国民の義務など近代化に伴う生活や社会の変容について理解し、考察する。 ・アジア諸国とその他の国や地域を比較し、近代化の歴史を理解しながら、多角的に考察する。	(6) (5)
二学期	第２章　国際秩序の変化や大衆化と私たち 国際秩序の変化や大衆化への問い １　経済危機と第二次世界大戦 ２　第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立などの国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について理解し、考察する。 ・自由、平等、格差、開発、対立、協調など様々な観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解し、日本とその他の国の動向と比較しながら主題について考察する。	(6) (5)
三学期	第３章　グローバル化と私たち グローバル化への問い １　冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 ２　国際秩序の変容と 21 世紀の世界 現代的な諸課題の形成と展望	・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源エネルギーと地球環境、感染症などのグローバル化に伴う生活や社会の変容について理解し、考察する。 ・持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解し、今後の展望について多面的に考察する。	(6) (5)

備考　(1)(2)(3)(4)(7)については、全ての単元において評価項目として用いる。